

■ご挨拶

風車を次の世代に引き継ぐために

日本風力発電協会 理事 **吉田 悟**
株式会社 北拓 取締役副社長



はじめに

我が国の風力創世記の風車が償却期間を迎え一部サイトで解体撤去作業が始まりました。個人的には非常に寂しい思いと共に、次の世代に風車を引き継がなければならないという思いを強く感じております。

当時は 100kW から始まり 300kW そして 600kW、1000kW、1500kW と速度を上げて大型化が進み、今や 5MW、7MW と当時では考えられない出力まで進化してきましたが、我が国の電気インフラを考えると負荷が少ないサイトでの地元参加型の地産地消の風力発電事業の行く末を案じております。

もちろん大型化が進み一定の発電量を安定的に供給できる事も重要な事と思っておりますが、我が村我が町の風車が風力ファンを増やしてきた事も事実ですので、これらの風車が無くならない様に支えてゆかなくてはならないと考えており、何らかのアクションが必要な時期が来ているように感じております。

今のままでは、解体された風車で空いた連系量が別の電源に代わってしまう事が予想されますし、建て替えたくても現在建っている風車に代わる風車の選択肢が少ない事も問題です。

当社として

洋上サイト、数万 kW の大型サイトへのメンテナンスのご提案はもちろん、1000kW 以下のサイトにもサービスのご提供ができるような体制を作るべく国内の拠点を今後も増やし効率化を考えております。更に風車部品の適正な環境での適正な量のストックが出来るような拠点も順次整備してゆく計画です。

また、部品の高度化はメンテナンス手法の効率化を図る為に弊社のテストサイトの活用や、テストサイトを増やしてゆく活動も積極的に取り組んでゆこうと考えております。

今後数年間はアセスが終了したサイトから順次運転が開始される事が予想されますが、地元の雇用、産業創生に寄与する為のスキームも模索して地元企業殿とどの様な方法でアライア

ンスを構築し、お互いが共生できる関係が出来るかをテーマに活動をしてゆかなければならないと考えており、今後も試行錯誤しながら最善の方法を模索してゆく決意でございます。

最後に

今後も自社で所有している風車サイトやトレーニング設備を活用し、日本にあったメンテナンスや洋上風車のメンテナンス手法の確立、人材育成の為に新規に参入される企業殿にご協力できればと考えております。

また、我が村、我が町の風車を無くさない様に風車が立地している地元と連携していく活動や新規参入を希望している事業者殿をサポートして風力発電業界のプレーヤーを増やす活動も積極的に行いたいと思っております。

微力ではございますが、今後も JWPA 活動及び弊社の事業を通じて風力発電業界の発展の為に貢献出来ます様、努力して参る所存でございますので、宜しくお願い申し上げます。



北拓部品管理システム



旭川 - トレーニングセンター兼倉庫